

「力こそ正義」に立ち向かう

宗教者ら国会内で平和集会

平和をつくり出す宗教者
ネットなどの宗教者団体は
19日、国会内で「私たちは

「力こそ正義」に立ち向かう
向かうか」とラジオの暴走
と日本の進路」と題する
宗教者・市民集会を開きま
した。30人が参加しました。

ジャーナリストの布施祐
仁氏が講演を行い、軍事に
よる抑止力に頼る高市早苗
政権や米国のトランプ政権
のベネズエラ侵攻の無法ぶ
りを批判しつつ、米国のさ
えも中国と軍事対立でな
く、協力を模索していると
指摘。「力による抑止力で
はない別の道がある」とし
てASEAN（東南アジア
諸国連合）を挙げ、武力衝
突が避けられ、経済的な結

草の根の対話 地道に



宗教者と市民の参院議員会館前で行動の様子＝19日、東京都千代田区

し、国家が崩壊した旧ソ連
と同じで問題解決にならな
いと強調しました。

参加者からは平和や社会
問題を若い人に言っても
「話を聞いていくべきか」
との質問も。布施氏は、若
い人が軍事や外国人問題な
どで偏見もあるとしたうえ
で「いきなり超越しに、『開
違っている』と批判せずに、
一人の人間として向き合っ
て、事実を基に丁寧に話を
していけば、（誤解や偏見
は）埋められる」と回答。
同時に「世の中の経過のス
ピードに対し、草の根での
対話が戦争を止めるどころ
に間に合うかどうかは問わ
れている。地道に続けるし

かない」と訴えました。
集会後、参院議員会館前
で参加者は「武力で平和は
つくれない」「憲法9条を
守ろう」などのコールを行
いました。日本山妙法寺の
武田隆雄氏は「絶望の中に
希望を見いだしていかなけ
ればならない」と結びまし
た。

びつぎが強まっていると説
明しました。高市政権が「抑
止力」の下、軍拡をするこ